



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

No.92

ホームページ → <http://www.normanet.ne.jp/~tsukushi/> メール → fs2941@nifty.com

つくしんぼはハンディをもつ
子どもたちのための
放課後活動のスペースです

編集～ NPO 法人はらっば
フリースペース
つくしんぼ
町田市小川 1511 番地
TEL/FAX 042-796-8468

前へ進まない贅沢

あれから14年

つくしんぼの活動のスタートは、1996年6月。補助金を受けられるようになったのが、二年後の1998年4月。それ以来つくしんぼは、ずっと同額の補助金を東京都と町田市から受けて活動を続けてきました。

つくしんぼ開設当時の町田市内の成人メンバーのための福祉施設は、そのほとんどが無認可の共同作業所の形態でした。通所授産事業・通所訓練事業・通所デイグループ事業(当時は通所デイサービス事業)と事業形態は異なっていたものの、東京都と町田市からの単独補助を受けているという点では一緒の環境なので、運営に関しての疑問点は先輩にあたる施設に質問すればだいたいのことを教えて貰えました。

進まないダメなの？

その後、町田市内の無認可作業所はNPOになったり、小規模社会法人を取ったりとさまざまな形態に変化を繰り返していきました。複数の作業所が一緒にまとまり、社会福祉法人を取得したケースもいくつか見られました。

そんな中、成人施設に変化があっても、障がい児の遊び場であるつくしんぼは全然変わりませんでした。場所も同じなら定員も同じ、活動規模も同じで補助金額も同じ、保護者の負担額もずっと同額……。

あまりに代わり映えしないからか、「つくしんぼって全然進歩がないのねえ」なんて言われたこともあります。

でも、進歩って一体何なのでしょう。福祉団体は前に進まなければならぬものなのでしょうか？

たとえば小学校なんて、何年経ってもそんなに変わりませんよね。

三月になれば六年生が卒業してゆき、四月になれば一年生が入学してくる。新一年生にとってみれば、新しい変化なんて全然必要ないんです。

つくしんぼだって一緒です。新会員としてやってくる幼い子どもたちにとって、つくしんぼは常に新鮮な遊び場なんです。新たな変化なんて特別必要ないんです。

法内移行セヨ……

現在、つくしんぼも会員である『障害児放課後グループ連絡会・東京』(54グループが加盟)では、都知事に提出するための「放課後グループが移行できるような制度ができるまでは都の補助金制度を継続して欲しい」という内容の署名を集めています。

都からは「新体系移行を2011年度末までに進めており、それまでは現行制度での補助を継続するが、2012年度以降については調整中」との説明を受けています。「障害者自立支援法」の実施以降、都独自の障害者福祉の制度も2011年度までに「障害者自立支援法」内に移行することが都の方針になっているからです。

しかし、放課後グループが移っていきけるような制度は「障害者自立支援法」の中にはないのが現状

なのです。前進があまりに危険な状況にもかかわらず、前へ進むことを強要されているのです。

現在の法制度内では、日割り人数単価によって補助額が決定されるのですが、これが問題なのです。この制度内容では放課後グループの活動など成立しません。

変だと思いませんか？

つくしんぼはハンディのある子どもたちのための屋根のある公園なんです。遊び場なんです。

ただ、ハンディがあるゆえ、活動には大人の目が必要です。過保護で職員が一緒にいるわけではありせん。

そんな場所に日割りの人数単価の制度を持ち込むなんて……。

変だと思いませんか？

行政の窓口業務が日割り人数単価で職員の給料を計算しています



♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

11月13日(土曜日) 天気 はれ

昨年に引き続き、今年もつくし野中PTA元会長の井上さん宅の南町田駅近くの畑にて、さつまいも掘りをさせて頂きました。

今年は猛暑であまりおいもの出来がよくないとおっしゃっていましたが、とんでもない。大判小判じゃないけれど、大きなイモがぎゅっぐゅ!!

井上さん宅の愛犬のヒメちゃんが、子どもたちと遊んで欲しいのか、畑じゅうを走り回って、ここ掘れワンワン!! だけど子どもたちは大きな犬が苦手で、逃げ回ってばかり。結局のところ、犬と遊んでいたのは、施設長だけだったりしていました。

午前中の短い時間だけでしたけど、それでもおかげさまで持ちきれないほどのおいもを掘らせて頂きました。

以前はよく、つくしんぼの庭に地域の人たちも大勢集まって焼きいも大会をしていました。が、最近はどうやっていません。

でも寒い日の焼きいもは美味しいし、今冬はミニ焼きいも大会です。

井上さん、ありがとうございました。m(____)m

か? 消防署が火事の回数単価で消防士の給料を計算していますか? 変だと思いませんか?

日割り人数単価獲得のための放課後活動なんて。遊びに来ることを強要する遊び場なんて……。

変だと思いませんか?

ささえる会・ご入会・ご更新

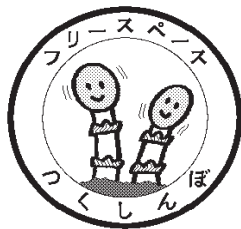
ありがとうございます

関水様、角谷様、今井様、福井様、奥山様、山下様、難波様、谷沢様、横溝様、柴田様、境様、佐々木様、桶谷様、清水様、中村様、荒川様、稲垣様、城田様、吉本様、坂井様、依田様、川本様、堀江様、田辺様、大工原様、永野様、深川様、浅川様、井上様、高崎様、山上様、西田様、佐治様、桜井様、角井様、齊藤様、井上様、高橋様、豊田様、有田様、木村様、外谷場様、森様、阿部様、峯岸様、岩崎様、古閑様、岡様、長谷川様、木賀様、高柳様、竹田様、大石様、上野様、亀屋様、細野様、原様、根岸様、周東様、木島様、古閑様、山本様、坂本建設工業様、三和住建様、よこはま発達クリニック様

ボランティア・ご寄付

ありがとうございます

三箇山様、石川様、山下様、山本様、佐藤様、宮崎様、木村様、桜井様、山上様、西川様、行田様、阪本様、大島様、渡辺様、藤田様、高井様、瀬戸様、富田様、平沢様、檜垣様、加藤様、大野木様、吉田様、橋本様、問井様、にこにこクラブ様、南郵便局様 (7月～11月)



SSKP

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
つくしんぼの活動は月曜～金曜日
放課後～午後 5 時 30 分まで
ボランティアさんを募集中です
興味ある方はご連絡ください
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



キラキラっと、ね……

白濱 美紀子

美帆は町田の丘学園に通う小学 2 年生の女の子です。三人姉弟の長女で、5 歳と 2 歳の弟がいます。弟の一輝と知輝もつくしんぼで遊ぶのが好きでお世話になってます。

美帆が小学校に入学したら放課後遊べる場所を考えなくては、と思い始めたのは、第 3 子出産を間近に控えた頃でした。

赤ん坊を連れて美帆を公園で遊ばせるのも大変だと思ってましたし、すみれ教室の先生にも言われました。美帆の放課後のことを考えながら、自分の子どもの頃を思い出しました。

みなさんは子どもの頃、どんな放課後を夏休みを過ごしていましたか？

私は公園へ行ったり、ダンボールで草すべり、自転車を乗りまわし、コックリさん占いに大騒ぎしたなあと、友達と楽しく過ごしたことを思い出しました。美帆にも学校と家との往復だけでなく、好きな遊びをして過ごせる場所を見つけてあげたいと思いました。

入学前の春休み中、見学へ行ったら、美帆も安心して遊んでいる様子だったので、その日につくしんぼでお世話になることを決めまし

た。今では家→学校→つくしんぼと、三角形のリズムができています。春、夏、冬の長期休暇も毎日のように遊びに行きます。

今年は猛暑だったので、水遊びの大好きな美帆は、毎日のように庭のビニールプールで水遊びをし、大好きだったすみれ教室の室内プールにも大興奮して入ってました。笑顔がすべて語っているかのように、水中でジャンプジャンプ、「すごく楽しい!!」を全身で表現していました。入水前の水着の着替えなんか早いこと!! ビックリしますよ。

こんな感じで、とても素直に感情をストレートに出します。周囲の人に「美帆ちゃんはわかりやすいですね」と笑いながらよく言われます。

つくしんぼでは、音楽や造形活動でも先生方にお世話になってます。障がいをもつ子どもたちに音楽は良いと聞いていたのですが、美帆も音楽活動を通じて、順番を待つことや伴奏やお友達と合わせて演奏したりという成長が少しずつ見られるようになりました。「～に合わせて」や順番を待つことなど本当に苦手でした。

最近の学校面談で、音楽の授業に関しては、つくしんぼでの音楽活動の成果がとても良く出ていて言うことありませんと褒められるようになりました。

造形活動では「キラキラっとアートコンクール」という障がいのある子どもたちの絵画コンクールで優秀賞を頂きました。全国 8ヶ所で原画展があるということで、さっそく横浜会場に行ったところ、美帆はというと自分の絵より隣のアイスクリーム屋が気になり、さっそく嬉しそうに食べてい

ました。

審査員のコメントの一部に「感情を素直に出すというところを周りの人が見守ってあげましょう」とありました。あらためて温かく見守っていかうと思える、とても嬉しい出来事でした。

最近ではパパとお風呂に入らなくなったりと、これも成長!? パパは「寂しいなあ」とポツリとつぶやいていました。美帆は障がい児だから幼いし、まだまだ一緒に入れると勝手に思い込んでいたようです。時々懲りずに「美帆ちゃんお風呂入る?」と誘ってますが、「キャー」と叫ばれ、拒否されています。

私たちにいろいろな成長をみせてくれる美帆に、これからも恐れることなくいろんなことにチャレンジしてほしいと思ってます。そして明るく伸び伸び育って欲しいです。

これから先、少しでも長くつくしんぼという場所が子どもたちの放課後の場所として在り続けて欲しいと願っています。

キラキラっとアートコンクール優秀賞
ダイナミック賞「かぶとむし」
しらはま みほ



「ぼくうみ」DVDが発売!!

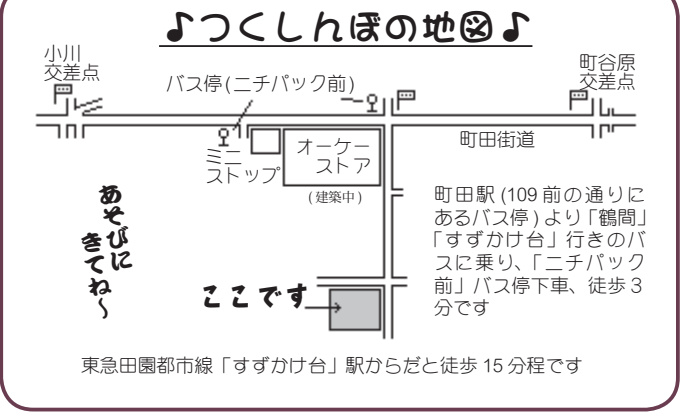
つくしんぼ代表が企画・原作・脚本を務める、自閉症の青年が主人公のロードショー映画「ぼくはうみがみたくなりました」のDVDが、今秋ついに発売となりました。

つくしんぼでも販売しておりますので、購入ご希望の方は、090-8089-7872 (山下携帯) までご連絡ください。

定価は 3990 円 (税込み) ですが、「つくつく通信で読んだ」とおっしゃって頂ければ、割引価格+パンフレットのおまけつきにてご提供させていただきます。よろしく!! (o^v



発行 東京都世田谷区砧 6-26-21
障害者団体定期刊行物協会 定価 50 円



「つくしんぼをささえる会」
「ご入会・ご更新のお願い」
フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子どもたちの放課後活動施設です。
1996年に自主グループとして開所、1998年に東京都通所デイグループ事業としての認可を受け、2007年からは運営主体をNPO法人はらっぱに移行し、運営を続けています。
活動を開始して10年以上経過していますが、補助金額が増えるわけでもなく、運営資金不足は相変わらずの状態です。
よろしかったら「ささえる会」の会員になってください。年会費 2000 円 (一口) でお願しております。
会員の皆様には、なにもお返しできず心苦しいのですが、この会報紙「つくつく通信」だけは送付させて頂きます。
今年も三回しか発行出来そうもなく、季刊以下の状態ですが……よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ